

平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成29年8月4日

上場会社名 塩水港精糖株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2112 URL http://www.ensuiko.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山下 裕司
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理グループ長(氏名) 酒井 英喜 (TEL) 03-3249-2381
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	6,885	△1.7	202	△38.6	366	△14.3	288	△8.2
29年3月期第1四半期	7,006	△1.7	329	64.3	427	79.7	314	95.7

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 315百万円(165.1%) 29年3月期第1四半期 119百万円(△82.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	10.66	—
29年3月期第1四半期	11.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	25,066	7,800	31.1
29年3月期	24,929	7,620	30.6

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 7,800百万円 29年3月期 7,620百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
30年3月期	—				
30年3月期(予想)		0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,800	1.4	320	△36.9	580	△9.2	480	1.7	17.71
通期	27,400	0.1	680	△6.4	1,000	19.3	780	42.0	28.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	35,000,000株	29年3月期	35,000,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年3月期1Q	7,890,604株	29年3月期	7,890,604株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	27,109,396株	29年3月期1Q	27,109,396株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により緩やかな回復基調にあるものの、家計の節約志向は根強く個人消費の本格的回復には至らない状況にあり、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループはお客様のおなかの健康に貢献する「おなかにやさしい会社」を目標に、砂糖事業及びバイオ事業の計画達成に向けて全力で取り組んでまいりました結果、当期の業績及びセグメントごとの業績は以下のとおりとなりました。

①砂糖事業

海外原糖市況は、ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限、1ポンド当たり）において16.93セントで始まり、直後に17.18セントの高値を付けたものの、主要生産国であるブラジルでのサトウキビの増産予測などによる世界需給の供給余剰見通しの拡大を背景とした下げ基調が継続し、投機筋の売りも加わった結果、6月下旬には12.53セントの安値を付け、13.68セントで当期を終了しました。

国内市中価格（日本経済新聞掲載、上白糖大袋1kg当たり）は、期初195円～196円で始まり、同水準のまま当期を終了しました。

精糖及びその他糖類などの国内販売は、業務用製品は堅調に推移したものの家庭用製品が伸び悩んだことから、売上高はほぼ前年並みとなりました。

以上の結果、当期における砂糖事業全体の売上高は6,401百万円（前年同期比1.4%減）、セグメント利益は411百万円（前年同期比7.8%減）となりました。

②バイオ事業

オリゴ糖事業は、『腸内フローラ』の改善による整腸効果のさらなる認知を目指し、イベントへの協賛や各種メディアを通じた一般消費者への訴求及び主要量販店等への販売促進活動の強化に努めましたが、「オリゴのおかげ」の市販品及び業務用製品とも販売数量はやや低調に推移し、売上高は前年同期を下回りました。

サイクロデキストリン事業は、食品及び非食品への拡販に努めました結果、売上高はほぼ前年並みとなりました。

以上の結果、当期におけるバイオ事業全体の売上高は480百万円（前年同期比5.8%減）、セグメント利益は83百万円（前年同期比32.0%減）となりました。

③その他

その他の事業につきましては、ニューE S Rビル事務所の一部賃貸等を行い、所有不動産の活用に努めました結果、売上高は32百万円（前年同期比2.3%増）、セグメント利益は16百万円（前年同期比26.5%増）となりました。

以上の結果、当期の売上高は6,885百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益は202百万円（前年同期比38.6%減）、経常利益は366百万円（前年同期比14.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は288百万円（前年同期比8.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べて136百万円増加し、25,066百万円となりました。これは主に、現金及び預金138百万円増加、商品及び製品が201百万円増加した一方で、原材料及び貯蔵品130百万円減少、機械装置及び運搬具が74百万円減少したことによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べて43百万円減少し、17,265百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金103百万円増加、短期借入金100百万円増加、未払消費税が136百万円増加した一方で、長期借入金が380百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて179百万円増加し、7,800百万円となりました。これは主に、利益剰余金153百万円増加、その他有価証券評価差額金が22百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結会計期間の業績は概ね当初予定通りに推移しており、第2四半期連結累計期間及び通期の業績につきましても、現時点では、平成29年5月11日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,108	1,246
受取手形及び売掛金	1,801	1,821
商品及び製品	1,303	1,505
仕掛品	305	193
原材料及び貯蔵品	1,352	1,222
繰延税金資産	75	61
その他	971	981
流動資産合計	6,919	7,034
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,867	9,941
減価償却累計額	△6,137	△6,199
建物及び構築物(純額)	3,730	3,741
機械装置及び運搬具	11,068	11,045
減価償却累計額	△9,371	△9,423
機械装置及び運搬具(純額)	1,696	1,621
工具、器具及び備品	428	431
減価償却累計額	△365	△370
工具、器具及び備品(純額)	63	61
土地	5,234	5,234
建設仮勘定	99	56
有形固定資産合計	10,824	10,715
無形固定資産		
ソフトウェア	10	8
その他	140	141
無形固定資産合計	150	149
投資その他の資産		
投資有価証券	5,004	5,149
長期貸付金	1,300	1,308
繰延税金資産	649	630
その他	81	78
投資その他の資産合計	7,035	7,166
固定資産合計	18,010	18,032
資産合計	24,929	25,066

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,030	1,134
短期借入金	5,950	6,050
1年内返済予定の長期借入金	2,043	1,958
未払法人税等	59	55
未払消費税等	49	186
賞与引当金	81	41
その他	1,061	1,221
流動負債合計	10,276	10,647
固定負債		
長期借入金	5,908	5,528
退職給付に係る負債	791	759
その他	332	330
固定負債合計	7,032	6,618
負債合計	17,309	17,265
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,750	1,750
資本剰余金	241	241
利益剰余金	8,915	9,069
自己株式	△3,021	△3,021
株主資本合計	7,885	8,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△277	△255
繰延ヘッジ損益	△7	△5
退職給付に係る調整累計額	19	21
その他の包括利益累計額合計	△265	△238
純資産合計	7,620	7,800
負債純資産合計	24,929	25,066

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	7,006	6,885
売上原価	5,748	5,666
売上総利益	1,258	1,218
販売費及び一般管理費	928	1,016
営業利益	329	202
営業外収益		
受取利息	8	6
受取配当金	59	59
持分法による投資利益	55	122
その他	2	3
営業外収益合計	126	192
営業外費用		
支払利息	27	25
支払手数料	0	1
その他	0	1
営業外費用合計	28	28
経常利益	427	366
特別利益		
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	427	366
法人税、住民税及び事業税	70	55
法人税等調整額	42	21
法人税等合計	112	77
四半期純利益	314	288
親会社株主に帰属する四半期純利益	314	288

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	314	288
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△203	19
繰延ヘッジ損益	5	2
退職給付に係る調整額	2	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	2
その他の包括利益合計	△195	26
四半期包括利益	119	315
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	119	315

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,488	491	27	7,006	—	7,006
セグメント間の内部売上 高又は振替高	4	18	4	27	△27	—
計	6,492	510	31	7,034	△27	7,006
セグメント利益	446	123	12	582	△253	329

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,396	460	27	6,885	—	6,885
セグメント間の内部売上 高又は振替高	4	20	4	29	△29	—
計	6,401	480	32	6,915	△29	6,885
セグメント利益	411	83	16	511	△309	202

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。